

王 澤蘊 氏の学位審査結果の要旨

主査：岡田 英孝

副査：中邨 智之、福永 幹彦

本研究は、更年期障害の治療に処方される 3 種類の漢方製剤が β 型のエストロゲン活性を有することを *in vitro* の系によって初めて明らかにし、その活性は一部の構成生薬に含まれるエストラジオールと類似した化学構造を持つ植物エストロゲンによるものであると考察した。さらに、漢方製剤の特徴の一つである構成生薬の組合せによる相乗効果が、エストロゲン活性においても認められることを示した。本研究は、漢方薬の薬効のメカニズムの一端を明らかにし、解析・考察ともに適切になされているため、学位に十分価すると考えられる。